

茅ヶ崎セントラルクリニック

小田島 英明 (副技師長 / 臨床工学科)

- 功 績 茅ヶ崎セントラルクリニックの職員を巻き込み、駅伝部を独自に創設、職員に周知するとともに、毎週日曜日に活動し、職員の健康増進、また福利厚生向上に寄与している功績
- 推 薦 者 細川 康子 (看護部長)
- 推 薦 理 由 結果として親身な対応を形にできたことは健育会グループの職員としての模範的な行動であると考え、理事長賞に推薦させていただきます。

内 容

小田島は入職20年になるベテランの臨床工学技士です。当院では透析に係る機器類、薬剤、医療材料の管理を行うとともに、患者さん一人ひとりの情報をしっかり頭に入れており、透析針の穿刺の際は患者さんからリクエストがかかるほど信頼をされている職員です。

小田島は職員間でのコミュニケーションがこのコロナ禍において不足しがちな現状を踏まえ、まずは臨床工学技士内において、日曜日に一緒に身体を動かす取り組みを始めました。その後、活動を通じて寒川地区において駅伝大会があることを知り、どうせ活動するならば、目標をもって活動していきたいと考え、茅ヶ崎セントラルクリニック駅伝部として活動を推進していきました。

現在は技師3名、看護師2名、事務1名の計6名で活動していますが、本取り組みにより職員の健康増進が計られたとともに、技師、看護師、事務間でのコミュニケーション増に繋がっております。

今年度の目標である親身な対応は、患者さんだけではなく自分たちの仲間にも注がなければならないと常に話している小田島が、具体的な行動としてこのような活動を行っていることは理事長賞に相応しいと考え、推薦させていただきます。